

ノ第三方面軍直轄の部

3HA直轄

(18)

番号	所属	部隊固有名称	通称号	編成状況		位置		戦斗による損害の程度	作業大隊		入迎初期の収容所			入迎した者の数	備考	
				備成日	備成状況	平時	主要武装		備成地番	地区	分所	人員				
1	3HA	第3方面軍司令部	強 7338	予予ハル	第2方面軍司令部	奉天	奉天	() %	奉天	1	パワラール	3分	370	奉天	20/1/10	3方面軍として強7331を派用した
			満 13		強部136野重8編	奉天			奉天	奉天	56	ハバロフスク	特収			
1	直	司令部	大尉 後宮 博	予予ハル	強部136野重8編	奉天	奉天	() %	奉天	59	"	42分	50			
			満 620 ()	約230名												
1	(1)	第3方面軍臨時軍法会議						() %								諸元不明
1	(2)	同 系 庫 第1拘禁所						() %								諸元不明
1	(3)	同 東 軍 陸 軍 経 理 部 下 士 官 教 育 隊	強 9331	奉天	第8方面軍 部下部隊	奉天	奉天	() %	奉天	1	パワラール	3分	80	奉天	20/1/10	軍隊区分による教育隊で3方面軍隷下部隊よりの派属者を教育助教とした後教后原隊に戻した者は約40名
			大尉 中井 稔 天		強 280 ()	奉天			奉天	奉天	56	ハバロフスク	8分			
1	(4)	第3方面軍 経 理 部 奉 天 出 張 所	強 13139	奉天	同 東 防 衛 庫 (満 693)	奉天	奉天	() %	奉天	1	パワラール	5分	5	奉天	20/1/10	通化、遼陽、海城、鉄嶺に派出所を設定
			満 693		強 130 ()	奉天			奉天	奉天	58	ハバロフスク	42分			
1	(5)	第3方面軍 経 理 部 錦 西 出 張 所	強 13139	錦西	"	錦西	錦西	() %	奉天	1	パワラール	3分	15	奉天	20/1/10	錦洲に派出所を設定
			満 693		強 270	錦西			錦西	奉天	54	ウラウテ	30分			
1	(6)	第3方面軍 経 理 部 新 京 出 張 所	強 13139	新京	"	新京	新京	() %	奉天	1	パワラール	3分	10	奉天	20/1/10	敦化、吉林、双陽、四平、公主嶺に派出所を設定
			満 693		強 130	新京			新京	奉天	58	ハバロフスク	42分			
1	(7)	第3方面軍 経 理 部 大 連 出 張 所	強 13139	大連	"	大連	大連	() %						大連	20/1/10	一部海路で入り諸元不明 主力は旅大地区より派属
			満 693		強 160	大連			大連	不明						
1	(8)	第3方面軍 経 理 部 鄭 家 屯 出 張 所	強 13139	奉天	同 東 軍 司令部	鄭家屯	鄭家屯	() %	奉天	1	パワラール	3分	5	奉天	20/1/10	白旗子、興家、五叉河、錦南、徳柏斯に派出所を設定
			満 693		強 60 ()	奉天			奉天	奉天	58	ハバロフスク	42分			
1	(9)	第3方面軍 経 理 部 鄭 家 屯 出 張 所	強 13139	奉天	"	鄭家屯	鄭家屯	() %						奉天	20/1/10	
			満 693		強 60 ()	鄭家屯			鄭家屯							

番号	部隊名	満員数	補充数	備考	指揮官	所属	備考	海城	将大	マルニヤ	備考	約	備考	備考	備考		
2	3HA 108D 第108師団司令部	満225 祐14055		19.7.12(19.8.15) 承	9.独守司 弘師司 150(8L)	承 總 承 錦 承 泉 承 陽	○ 陽 陽	海城	將大	マルニヤ スク バグワード		約140			20.1.1(20.6.1)	240	本系外に20.8.13 防衛召集 (持談警備隊要員)のため 約30名入隊
3	同上 歩兵 第240連隊	満881 祐20560		19.7.12(19.8.15) 承	独守歩13大 (満881) 弘師歩1師 4100(約1,510)	承 總 承 錦 承 泉 承 陽	○ 陽 陽	海城	將大	マルニヤ スク バグワード		約50			20.1.1(20.5.1)	240	一部(工大主力)は同隊後 北支軍の指揮下に入る 承 總 作 隊 は 入 隊 中 奉 天 に 於 け 約30名 黑河 に 於 け 約40名 入 隊
4	同上 歩兵 第241連隊	満154 祐20570		19.7.12(19.8.15) 承	独守歩17大 (満154) 弘師歩2師 4,100(約1,500)	承 總 承 錦 承 泉 承 陽	○ 陽 陽	海城	將大	マルニヤ スク バグワード		約60			20.1.1(20.6.7)	243	一部は根大地区に収容 分選 歩2下候 約100名 歩2幹教 不詳
5	同上 歩兵 第242連隊	満804 祐20580		19.7.12(19.8.15) 承	独守歩18大 (満804) 弘師歩2師 4,020(約1,500)	承 總 承 錦 承 泉 承 陽	○ 陽 陽	海城	將大	マルニヤ スク バグワード		約50			20.1.1(20.5.22)	207	一部(5中9中)歩240連に配属 主力は根大地区に収容 分選 歩2下候 約100名 歩2幹教 不詳
6	同上 第108師団 挺進大隊	祐20550		20.2.10(20.7.30) 承	108師各隊 1,000(不明)	承 總 承 錦 承 泉 承 陽	○ 陽 陽	海城	將大	マルニヤ スク バグワード		約20			?	?	秘 隊 名 { 1中隊(皇道隊) 2中隊(振武隊) 3中隊(先鋒隊) 差込委員並自衛分 1中(歩240連) 2中(歩241連) 3中(歩242連)
7	同上 騎兵 第171連隊	満4392 祐20590		19.7.16(19.8.5) 承	東北67(約57艘) 50.3(8L)	承 總 承 錦 承 泉 承 陽	○ 陽 陽	海城	將大	マルニヤ スク バグワード		約40			20.1.1(20.5.7)	168	20.2 近 連 隊 長 大 佐 村 上 俊 一 郎
8	同上 野砲兵 第108連隊	満451 祐20100		19.7.12(19.8.15) 承	弘師砲師 1,200(約400)	承 總 承 錦 承 泉 承 陽	○ 陽 陽	海城	將大	マルニヤ スク バグワード		約60			20.1.1(20.6.1)	168	20.8 一 部 (工 本, 11 中 4 中) 136 D に 配 属
9	同上 工兵隊 第108師団	満474 祐20110		19.7.12(19.8.15) 承	東北78 470(約200)	承 總 承 錦 承 泉 承 陽	○ 陽 陽	海城	將大	マルニヤ スク バグワード		約300			20.1.1(20.6.1)	247	一部は根大地区に収容 20.7 近 連 隊 少 佐 佐 々 木 行 矩 隊 長 大 尉 佐 藤 五 郎 未 補 任 分選者 歩2幹教的12名 技教 不詳

(30)

0413

番号	所属	部隊固有隊	通称号	編成状況		位置	戦況による損害の程度	休養大隊				入ソ初期の収容所		留名	軍部郵便所	備考
				編成基幹部隊	補充担任部隊			常時	主筆武裝	備用地	番号	地区	分所			
10	3HA 108	第108師団 通信隊	満555 祐20120	永徳 永徳	永徳 永徳	遼陽 錦州	(%)	海城	6	マルシヤン	200	約	20/1/1 20/5/20		20/2/24	20/2/24 隊長大尉 青沼辰雄
11	同上	第108師団 輜重隊	満571 祐20130	永徳 永徳	永徳 永徳	遼陽 錦州	(%)	海城	5	マルシヤン	30	約	20/1/1 20/6/1		20/1/57	主力は旅大地区に収容
12	同上	第108師団 兵器勤務隊	満12951 祐20150	永徳 永徳	永徳 永徳	遼陽 錦州	(%)	海城	5	マルシヤン	約	約	20/5/25		20/5/25	
13	同上	第108師団 衛生隊	満669 祐20140	永徳 永徳	永徳 永徳	遼陽 錦州	(%)	海城	10	カグラ	約	約	20/1/1 20/6/1		20/1/65	20/5/25 隊長少佐 渡辺運志
14	同上	第108師団 病馬隊	満12954 祐20160	永徳 永徳	永徳 永徳	遼陽 錦州	(%)	海城	5	マルシヤン	5	5	20/5/20		20/5/20	主力は旅大地区に収容
15	3HA 136D	第136師団 司令部	不抜37220	永徳 永徳	永徳 永徳	奉天 (大山倉)	否し (%)	奉天	34大	フルク	約	約	20/8/15		20/8/15	現地は約20%と南満地区 時期は20/7/8~20/8/15 10) 而回全隊として本溪湖港本と瀋陽に22 0) 20/8/8 錦州地区より奉天に主力が移 動してゐる
16	同上	第136師団 歩371連	不抜37221	永徳 永徳	永徳 永徳	奉天 (瀋陽南)	否し (%)	奉天	32大	フルク	約	約	20/8/15		20/8/15	20/8/15 奉天移駐主力は瀋陽より海 城に集約約250名を海城に投入 Iは奉天而回主力の復讐に瀋陽 現地は約20%と南満地区 時期は20/7/8~20/8/15
17	同上	第136師団 歩372連	不抜37222	永徳 永徳	永徳 永徳	遼陽 (瀋陽南)	否し (%)	奉天	32大	フルク	約	約	20/8/15		20/8/15	20/8/15 奉天移駐主力は瀋陽より海 城に集約約250名を海城に投入 大連へ移動 現地は約20%と南満地区 時期は20/7/8~20/8/15 投入者は歩一隊分隊中のものが 基幹部である

18	314 136D	第136師団 歩373連	不抜37223 少佐 河野桂十郎	本溪湖 20 7 10	歩177連 滿洲 約3100(80%)	本溪湖 奉天	奉天 (朝鮮學校)	否し(%) 20.8.19現地召集の大部分が 現地解散 古城子に在(遺棄多数あり)	奉天 33大	14 14	約140	約140	奉天 大連	無	現地召集は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
19	同上	第136師団 延焼大隊	不抜37218 大尉 井手吉男	本溪湖 20 7 10	107師団 117師団 滿洲 約900(70%)	本溪湖 煙台	煙台	否し(%) 初度解散(20.8.20)					煙台 大連	無	部隊解散後の60名 20.9.15 武装解 散され煙台炭坑に送附さる 現地召集は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.7.31
20	同上	第136師団 野砲136連	不抜37219 大尉 正木敏市	海城 20 7 10	野砲17大 野砲10大 野砲123連 滿洲 約750(70%)	海城 奉天 遼陽 (4甲)	奉天 遼陽 (4甲)	否し(%) 武備より古城子武備隊を 他現地解散商隊若干あり	奉天 32大	23 5	約550	約550	奉天 海城 遼陽 大連	無	第4中隊は歩372連に配属 現地召集は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
21	同上	第136師団 工兵136隊	不抜37224 大尉 佐々木行則	本溪湖 20 7 10	63師工 滿洲 約500(90%)	本溪湖 奉天	奉天	否し(%) 部隊解散	奉天 34大	14 2	9	9		無	1コ小隊は歩372連に配属 現地召集は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
22	同上	第136師団 通信隊	不抜37225 大尉 柳沼秀三	本溪湖 20 7 10	砲46連 126師団 滿洲 135(60%)	本溪湖 奉天	奉天 (朝鮮學校)	否し(%) 20.8.21古城子にて現地 解散約60名	奉天 32大	23 5	52	52	奉天 大連	無	現地召集は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
23	同上	第136師団 騎兵136連	不抜37226 大尉 原田春芳	海城 20 7 10	騎兵107連 108連 滿洲 約750(90%)	海城 奉天	奉天	否し(%) 奉天鎮守小學校現地解散(20.8. 18)より古城子新隊現地解散 (20.8.20)より現地解散 (約500名)	奉天 32大	23 5	42	42	奉天 大連	無	1中隊は歩372連に配属 現地召集は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.7.15
24	同上	第136師団 兵隊勤務隊	不抜37227 大尉 萩原金蔵	本溪湖 20 7 10	滿洲 約84(90%)	本溪湖 奉天	奉天	否し(%) 20.8.18奉天公園現地 解散約60名古城子にて 約4名	奉天 32大	23 5	約24	約24	奉天 大連	無	現地召集は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
25	同上	第136師団 病馬隊	不抜37230 中尉 秋葉博	海城 20 7 10	滿洲 約124(90%)	海城 奉天	奉天	否し(%) 奉天公園現地解散約 90名(2.8.13) 古城子にて約16名	奉天 32大	23 5	約11	約11	奉天 大連	無	資料不備であるが殆んど現地召集と 思われる 時期は20.7.8~20.8.15
26	同上	混成旅団 司令部	歩387 大尉25274 少将 岡部通	牡丹江 (安陸) 20 3 30	三連百 隊1師百 隊25連 滿洲 約155()	安東 安東	安東	否し 20.8.28安陸にて現地解散 約50名 中隊現用15名 安東奉天間商隊約30名	奉天 53大 54大 59大	ウラシワ スウ 14	約40 17 3	約60	安東 奉天	○ 20 3 30	(1) 旅団側有職を備へた現地である (2) 安東奉天間商隊 在安東 三休所折着 が同一行動をとっている (3) 歩387連と誤り易い。

0415

(22)

番 号	所属 部隊固有名称	通称 隊長官氏名	編成 年月日	編成状況		位置 平時 主要武装 解隊地点	戦斗と損害の程度 現地解散及(高隊)の状況	休養大隊		入ソ初期の収容所			入ソしたつた 春に同連大る る地味	追 名 無 有 無	軍 部 隊 所 在 地	備 考	
				編成 年月日	補充 人員(現地含む)			編成地	番号	地区	分所	人員					
27	314 7985 独混79旅団 独歩578大隊	満 62 大犬25275 少佐 神野福太郎	社丹江(興隆)	20.3.30	歩43連 山砲11連 60兵營	社丹江(興隆) 鳳凰城 安東	なし(%) 現地解散 約310名 高隊 約190名	奉天 44大	カサトック	約340	約400	安東 奉天	20.3.30	○			
				満洲	約900(約400)												
28	同上 独混79旅団 独歩579大隊	大犬25276 大尉 島田重隆	同上	20.3.30	歩44連 山砲1連 失動46中	社丹江(興隆) 石山 湖山城	なし(%) 20.8.25現地解散 約330名 高隊 約40名	奉天 44大	カサトック	5	375	約500	安東 奉天	20.3.30	○	20.7.20	19.5
				満洲	約900(約400)												
29	同上 独混79旅団 独歩580大隊	大犬25277 大尉 佐々木勝香	社丹江(興隆)	20.3.30	17野歩隊 11野自隊 25野貨隊	社丹江(興隆) 石山 安東	なし(%) 20.8.25現地解散 約350名 安東奉天同 高隊約40名	奉天 45大	カサトック	1	330	約500	安東 奉天	20.3.30	○	20.7.20	19.5
				満洲	約890(約390)												
30	同上 独混79旅団 独歩581大隊	満 166 大犬25278 大尉 中根忠雄	同上	20.3.30	歩40連 60兵營	社丹江(興隆) 石山 安東	なし(%) 20.8.29現地解散約350 安東奉天同及奉天高隊 約150	奉天 45大	カサトック	2	約250	約400	安東 奉天	20.3.30	○	20.7.20	19.5
				満洲	約650(約400)												
31	同上 独混79旅団 独歩582大隊	満 49 大犬25278 大尉 森村智	同上	20.3.30	歩70連 3軍師教導隊	安東 安東	なし(%) 20.8.25現地解散約120 別に高隊13名 20.9.23安東奉天同高隊 約150名	奉天 53大	ウラシマ	10	約290	約400	安東 奉天	20.3.30	○	20.7.20	19.5
				満洲	約873(約400)												
32	同上 独混79旅団 挺進大隊	大尉 内藤仁	安東	20.7.7	77旅団下部隊 周歩-幹教導隊 周工幹教導隊	安東 安東	なし(%) 武解前後の現地解散 約130名隊約56名 20.9.18, 3中隊部解散	奉天 45大	カサトック	4	462	約600	安東 奉天	20.7.7	○	19.5	(1)部隊の俗称は第水部隊(即隊 175) (2)転入部隊は79旅団下部隊及 周歩-幹教導隊、周工幹教導隊に 指定される
				満洲	1130(約500)												
33	同上 独混79旅団 砲兵隊	満 387 大犬25280 少佐 松尾貴	社丹江(興隆)	20.3.30	山砲11連 115連 野砲124連	社丹江(興隆) 石山 安東	なし(%) 20.8.16現地解散約500 安東奉天同で高隊約500	奉天 55大	カサトック	520 5大	約535	約590	安東 奉天	20.3.30	○	20.7.20	19.5
				満洲	約640(約200)												
34	同上 独混79旅団 工兵隊	満 235 大犬25281 大尉 塚省一	同上	20.3.30	独工12連	社丹江(興隆) 石山 安東	なし(%) 20.8.25現地解散約100 20.8.28武解後高隊 約60	奉天 44大	カサトック	3	約150	約180	安東 奉天	20.3.30	○	20.7.20	19.5
				満洲	330(約150)												
35	同上 独混79旅団 輿信隊	満 578 大犬25282 大尉 笠井満	同上	20.3.30	電燈7連 4連 10連	社丹江(興隆) 安東 安東	なし(%) 20.8.25現地解散約20 安東奉天同駐屯約11	奉天 44大	カサトック	3	約120	約120	安東 奉天	20.3.30	○	20.7.20	19.5
				満洲	220(約50)												

36	同上	独混 79旅団 監 重 隊	満 689 大天 25283 少佐 松永清敏	社丹江(興隆) 20 3 30	三軍司 旅自79大 満洲 684 (98%)	社丹江(興隆) 石頭 安 東	安 東	否し (%) 20.8.18 現地解散約190 現奉天同出の50名	奉天 42大 56大	117-117	8	約30 約150	約 400	安 東 奉 天	20 3 30	701 268 175	
37	31A 130 BS	独混 30旅団 司令部	喬岡 37502 少佐 森田貞三	撤 20 7 70	建勤34中 高尾171連 満洲 約160 (40%)	撤 順 奉 天	奉 天	否し (%) 20.8.19 現地解散約 10名	奉天 18大	カラカンガ	10	約180	約 150	奉 天 大 監 順 順 本 漢 湖			現地応召は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15 (1)本団全数として20.8.9 奉天移駐し てゐる (2)応召請ふは横山勇三少佐 136師団砲隊4隊、独混27大 独自 116大
38	同上	独混 130旅団 独歩 775大隊	喬岡 37503 大尉 高野正太郎	同 同 上 上	歩 240連 満洲 約1350 (90%)	撤 順 奉 天	奉 天	否し (%) 現地応召の大部は20.8.19 現地解散	奉天 14大	117-117	13	約500	約 500	奉 天 大 監 撤 順 本 漢 湖			現地応召は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15 130旅団、道と混同してゐる
39	同上	独混 130旅団 独歩 776大隊	喬岡 37504 大尉 鈴木茂雄	同 同 上 上	歩 241連 満洲 約1350 (90%)	撤 順 奉 天	奉 天	否し (%) 20.8.20 現地解散 87名 独混776大隊 41名	奉天 13大	カラカンガ	10	約408	約 408	奉 天 大 監 撤 順 本 漢 湖			現地応召は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
40	同上	独混 130旅団 独歩 777大隊	喬岡 37505 大尉 大竹直一	同 同 上 上	歩 242連 満洲 約1350 (90%)	撤 順 奉 天	奉 天	否し (%) 20.8.19 現地解散多数	奉天 16大 13大	117-117 カラカンガ	1 10			奉 天 大 監 撤 順 本 漢 湖			現地応召は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
41	同上	独混 130旅団 独歩 778大隊	喬岡 37506 大尉 中川健次郎	同 同 上 上	歩 240連 歩 241連 歩 242連 満洲 約1350 (90%)	撤 順 奉 天	奉 天	否し (%) 現地応召の大部は20.8.19 現地解散	奉天 13大	カラカンガ	10			奉 天 大 監 撤 順 本 漢 湖			現地応召は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
42	同上	独混 130旅団 挺進 大隊	喬岡 37507 中尉 土屋沢一	同 同 上 上	歩 171連 歩 173連 独歩 107連 野砲 107連 満洲 約650 (60%)	撤 順 奉 天	奉 天	否し (%) 20.8.19 現地解散約 30名	奉天 15大 13大	ジョース カスカン カラカンガ	1 10	約620 以上	約 620 以上	奉 天 大 監 撤 順 本 漢 湖			現地応召は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15
43	同上	独混 130旅団 砲 兵 隊	喬岡 37508 大尉 沢木文彦	同 同 上 上	野砲 107連 満洲 約250 (40%)	撤 順 奉 天	奉 天	否し (%) 20.8.19 現地解散約 10名	奉天 14大	117-117	13	約240	約 240	奉 天 大 監 撤 順 本 漢 湖			現地応召は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15 独歩775大 130旅団と混同してゐる
44	同上	独混 130旅団 工 兵 隊	喬岡 37509 中尉 新妻胤敏	同 同 上 上	42野砲 独工12連 満洲 約190 (70%)	撤 順 奉 天	奉 天	否し (%) 20.8.19 現地解散約20名	奉天 15大 16大	ジョース カスカン 117-117	1 1	約148 約150	約 150	奉 天 大 監 撤 順 本 漢 湖			現地応召は殆んど南滿地区 時期は20.7.8~20.8.15

(24)

番号	所属	部隊団名	通称号	編成状況			位置		戦斗による損害の程度	依拠大隊		入道初期の収容所			入道者のつとに因る種大なる地点	署名	軍面郵便所	備考
				編成地	編成年月日	編成人数	平時	戦時		編成地	番号	地区	介所	人員				
45	3HA 120BS	独混130旅団 憲兵隊	高野37510 中尉 南野義弘	20.7.10	防空部隊 満洲 約210(80%)	撫順 奉天	奉天	なし(%)	奉天 14大	ハルビン	13	約190	奉天 大連 本溪湖	無		現地不召付給人南満地区 時期は20.7.8~20.8.15 独歩775大、130旅団と混同してゐる。		
46	同上	独混130旅団 騎重隊	高野37511 大尉 北野英雄	20.7.10	独混64大 満洲 約530(90%)	撫順 奉天	奉天	なし(%)	奉天 15大	ハルビン	1	約370	奉天 大連 本溪湖	無		現地不召付給人南満地区 時期は20.7.8~20.8.15		
47	3HA 134BS	独混134旅団 司令部	高野37552 少将 後藤俊蔵	20.7.10	108師団 満洲 約150(約60%)	錦州 通化	通化	なし(%)	吉林 202大 " 210大 " 211大	ハルビン ハルビン ウラチヤ	1 1 11	約50	通化 奉天 錦州	無		編成は20.7.8~20.7.24頃迄 特に20.7.22~20.7.24間の不召が多い 108師団全隊として108師団と混同してゐる。 20.8.10 原駐地より鴨江附近に移動してゐる。		
48	同上	独混134旅団 独歩791大隊	高野37553 大尉 田村輝展	20.7.10	歩240連 満洲 約650(約90%)	錦州 通化	通化	なし(%)	吉林 202大 " 203大 " 205大 " 211大 " 19大	ハルビン ハルビン ウラチヤ ウラチヤ ウラチヤ	1 13 5 11 5/3	約70	通化 奉天 錦州	無		編成は20.7.8~20.7.24頃迄 特に20.7.22~20.7.24間の不召が多い。		
49	同上	独混134旅団 独歩792大隊	高野37554 大尉 水沼波男	20.7.10	歩242連 満洲 約550(約90%)	錦州 通化	通化	なし(%)	吉林 202大 " 201大 " 19大	ハルビン ハルビン ウラチヤ	1 1 5/3	約40	通化 奉天 錦州	無		編成は20.7.8~20.7.24頃迄 特に20.7.22~20.7.24間の不召が多い。		
50	同上	独混134旅団 独歩793大隊	高野37555 大尉 川原田金蔵	20.7.10	歩241連 満洲 約650(約90%)	阜新 通化	通化	なし(%)	吉林 202大 " 201大 " 211大	ハルビン ハルビン ウラチヤ	1 1 11	約50	通化 奉天 吉林	無		編成は20.7.8~20.7.24頃迄 特に20.7.22~20.7.24間の不召が多い。		
51	同上	独混134旅団 独歩794大隊	高野37556 大尉 岩崎源蔵	20.7.10	歩241連 歩242連 満洲 約650(約90%)	阜新 通化	通化	なし(%)	吉林 201大 " 202大 " 203大	ハルビン ハルビン ウラチヤ	1 1 13	約70	通化 奉天 吉林	無		同 上		
52	同上	独混134旅団 延焼大隊	高野37557 少佐 峰岸豊代志	20.7.10	歩240連 歩241連 歩242連 満洲 約520(約80%)	錦州 通化	通化	なし(%)	吉林 202大 " 211大 " 19大	ハルビン ウラチヤ ウラチヤ	1 11 5/3	約100	通化 奉天 吉林	無		同 上		

0418

53	同	独混14旅団	高師37358	縮	20	野砲102連 独歩206大 独歩371大	通化	石人溝 ↓ 中江鏡	在し(%)	吉林 小民化	202大 19大	アルタイ スカヤ カチラ	1 5/3 19大	約 100	通化 奉天 吉林 錦西	無	撤収は20.7.8~20.7.24頃迄 特に20.7.22~20.7.24間の 応召が多い
54	同	独混154旅団	高師37557	縮	20	108師団工	通化	錦西 ↓ 石人溝 ↓ 密江	在し(%)	吉林	206大 202大 205大	カチラ アルタイ スカヤ カチラ	1 1 5	約 12	通化 奉天 吉林 錦西	無	同 上
55	同	独混134旅団	高師37560	縮	20	102師団通	通化	錦西 ↓ 石人溝 ↓ 密江	在し(%)	吉林	201大 202大	アルタイ スカヤ アルタイ スカヤ	1 1		通化 奉天 吉林 錦西	無	同 上
56	同	独混134旅団	高師37561	縮	20	108師団砲	通化	錦西 ↓ 石人溝 ↓ 密江	在し(%)	吉林 小民化	202大 19大	アルタイ スカヤ カチラ	1 5/3 19大		通化 奉天 吉林 錦西	無	同 上
57	3HA ITK Os	独立戦車 第1旅団 司令部	迫13047	初	19.8.15	戦車第1師団	奉天	勃利 ↓ 四平 ↓ 奉天	戦斗せず(%)	奉天	29 30 4	アルタイ スカヤ カチラ カチラ	1 3 4	40	四平 奉天 遼陽	○	独立戦車第1旅団各隊は20.8.10頃迄 の独立混成隊133旅団各隊の備隊を担 任した
58	同	戦車 第34連隊	迫13041	初	19.8.15	戦車第1師団	奉天	勃利 ↓ 四平 ↓ 奉天	戦斗せず(%)	奉天	2 29 59 24	アルタイ スカヤ カチラ カチラ	1 1 1 1	500 60 100	四平 奉天 遼陽	○	戦車第34連隊は20.2.5 錦西の戦役 中第21連隊の備隊を担任した
59	同	戦車 第35連隊	迫13042	公	19.8.15	戦車第1師団	公主嶺	公主嶺 ↓ 新京	戦斗せず(%)	公主嶺 新京	1 3	アルタイ スカヤ カチラ カチラ	1 3	750	公主嶺 新京	○	戦車第35連隊は20.2.5 錦西の戦役 中第19大隊の備隊を担任した
58	同	独立戦車 第1旅団 歩兵隊	迫13043	初	19.8.15	戦車第1師団	奉天	勃利 ↓ 四平 ↓ 奉天	戦斗せず(%)	奉天	2 29 30 4	アルタイ スカヤ カチラ カチラ	1 1 3 4	50 400 120 35	四平 奉天 遼陽	○	
59	同	独立戦車 第1旅団 砲兵隊	迫13044	初	19.8.15	戦車第1師団	奉天	勃利 ↓ 四平 ↓ 奉天	戦斗せず(%)	奉天	30 29 59 24	アルタイ スカヤ カチラ カチラ	3 1 1 1	250 若干 若干	四平 奉天 遼陽	○	

0419

(26)

番号	所属	部隊固有名称	名称	編成日	編成地	編成状況	位置	戦時による損害の程度	信託大隊			入江初期の収容所		入江台のつと	有数の収容所	備考
									備用地	番号	地区	分析	人員			
62	3HA ITK BS	独立戦車 第1旅団 工兵隊	自/3405	19.8.15	和	戦車第1旅団	勃利	戦時せず(%)	奉天	2	フルマツ	5ヶ所	24	四平	ハニ 七 四	
			大尉 大森善栄	19.11.15	和	中部軍	四平	奉天	在籍者 召解 約50名	〃	30	フルマツ ワシキ コリス	2ヶ所	310		
63	同上	独立戦車 第1旅団 整備隊	自/3046	19.8.15	和	戦車第1旅団	勃利	戦時せず(%)	奉天	30	ウスチカス コリス	2ヶ所	335	四平	〇	
			少佐 鈴木宣	19.11.15	和	中部軍	四平	奉天	在籍者 召解 約150名	〃	4	アルクツ	4			
64	3HA 道	第22野戦 高射砲隊 司令部	満657 自/3110	19.7.7	新	鞍山防衛司令部 (満657)	鞍山	なし(%)	奉天	24	カラカヤ	1ヶ所	110		20 5 31 28 6 15	鞍山防衛司令部
			少将 澤田陽	19.10.10	新	〃	奉天	召解 53 高射砲 (別隊 砲兵隊) 5	〃	25				5		
65	同上	野戦高射砲 第26連隊	強2687	19.4.4	新	〃	鞍山	砲隊化 3(%)	公主嶺	7	ルロウヤ	3	1120		20 1 1 26 5 31	野戦1大2中4中と在り 1中全員国高下土俵に転落 20.7迄 現地知事署大佐
			中佐 加藤貞太郎	19.10.10	新	〃	〃	〃	高射砲 { 公主嶺 9 奉天 2	〃	24			16		
66	同上	野戦高射砲 第85大隊	満860 強/3104	19.7.8	公	1国守 4国守 11国守	鞍山	置隊約20(4%)	古茨山	2	ウロ シロフ	7	30	北鮮	20 1 1 20 5 31	
			少佐 井元一	19.10.5	公	〃	〃	〃	高射砲 { 古茨山 8 白岩 50	〃	4			562 砲大 564		
67	同上	野戦高射砲 第88大隊	満806 強/3105	19.8.9	戦	高射砲171連 (強7420)	鞍山	なし(%)	奉天	25	カラカヤ	11	550		19 12 31 20 5 31	満860は860単独部隊と混同
			少佐 松本治男	19.10.5	戦	〃	〃	〃	中隊 80 550(約100)	奉天						
68	同上	野戦高射砲 第90大隊	満436 強/3106	19.10.10	〃	高射砲55中56中 57中	鞍山	なし(%)	奉天	2	フルマツ	8	220		20 1 1 20 5 31	2中の一部は79所収容隊に転属 19.11.5 野高56中 補入
			少佐 屋野辰五郎	19.10.1	〃	〃	〃	〃	東部軍 570(約60)	〃	19	カラカヤ	6	120		
69	同上	野戦高射砲 第91大隊	満422 強/3114	19.11.5	安	野高26連	安東	なし(%)	奉天	47	フルマツ ワシキ	16	200		20 1 11 6 5	
			少佐 中川一良	19.11.5	安	〃	〃	〃	高射砲 { 安東 40 奉天 6	〃	49			9		

0420

70	同 上	野戦高射砲 隊 92 大隊	満 423 強 13116 少佐 高松元保	戦 山 11	野高 26 連 西部軍 520 (25)	鞍山 湯崗子 0 立山	奉天 遼陽	なし (%) 奉天高隊 35	奉天 海城 6	カワカガ クレス キルソ	11 434 隊	360 190	約 490		20 11 20 7 8		
71	同 上	野戦高射砲 隊 100 大隊	満 435 強 14008 少佐 角利休	馬 頭 25	〃 国守 500 (約 30)	錦西 奉天	奉天	なし (%) 奉天高隊 24	奉天 26	カワカガ クレス キルソ	10.16 48 2	200 230 30	約 460		2 4 5	前所屬の国守と混同して居る	
72	同 上	野戦高射砲 隊 65 中隊	強 14009 中尉 坂井久衛	遼 東 11		瀋河 清津 ↓ 遼南	遼南	なし (%) 高隊 { 遼南 12 遼南 6	志茂山 4 ? 6	ワコ キルソ キルソ	562 9 60	60 60	約 120				
73	同 上	野戦照空 隊 1 大隊	強 1224 大尉 富沢利雄	公 主 16	高砲 2 連 3 連 東部軍 510 (50)	鞍山 奉天	奉天	(%) 奉天高隊 6	奉天 24 25	カワカガ キルソ	11 18	500 20	約 520		20 11 20 5 25	野隊 13 中全員の改編され野隊 1 大 2 中 となる 野隊 1 大 2 中は野高 26 連 7 中に改編	
74	同 上	野戦照空 隊 6 大隊	満 623 強 13129 大尉 田村瑞雄	戦 山 11	〃 国守 野隊 1 大 東部軍 410 (60)	鞍山 清津	吉州	(清津) 3 (%)	興南 23 ? 24	テコ ワコ ワコ	2.3 3 20	250 20	約 270		20 11 20 3 31	20.7 連 湯谷少佐 大江正之助	
75	同 上	野戦照空 隊 7 大隊	強 14038 少佐 中川禮博	遼 東 130	野隊 1.2 中 東部 186 470 (7)	撫順 撫順	撫順	なし (%) 撫順高隊 12	奉天 40	ワコ キルソ (330)	3	350	約 350			1 現地より携行した所積者名簿あり 2 独立照空隊 1 中隊を改編基幹とす	
76	同 上	独 野戦照空 隊 14 中隊	満 65 強 14039 中尉 福田祐直	撫 順 1	野隊 3 中 160 ()	撫順 清津	吉州	(清津) 15 (9 %) 鳳凰高隊 2	興南 23 ? 24 開島 11	テコ ワコ ワコ ワコ	1.5 2 2 7	100 4 14 7	約 130			独立照空隊 3 中隊を改編基幹とす	
77	同 上	野戦夜間砲 隊 65 中隊	大尉 中川岩雄	19 7 10	100			(%)									部隊名及隊長名あれが中隊編成は詳 不詳
78	同 上	野戦夜間砲 隊 68 中隊	満 884 強 13118 中尉 永田 沙	戦 山 10	東部 186 180 ()	鞍山 大連	周水子	(%) 金州高隊 4							20 11 20 7 23	20.3.25 現地応召者は教育終了後 殆んど他防空部隊へ転出させた	
79	同 上	野戦夜間砲 隊 69 中隊	満 826 強 13119 中尉 水原健男	戦 山 10	中部 71 115 (3)	鞍山 水豊	水豊	(%) 水豊高隊 3	三合里 16 ? 17 美物洞 6	モスコ クレス キルソ	2 2 3	20 30	約 56		20 11 20 3 30	20.6 連 隊長 中尉 原田精二	

0421

(28)

番号	所属	部隊固有名称	通称号 隊長官氏名	編成状況		位置		戦況による損害の程度 現地解散及び降参の状況	永業大隊		入ソ初期の収容所			入りしなかった者との関係 なる地点	備考	軍用郵便所	備考	
				編成 時期	編成 地点	平時 同隊時	主要武器 解除地点		編成地	番号	地区	分所	人員					
80	直	野戦機関砲 隊 70 中隊	満 512 強/3130 中尉 奥村正三郎	19 7 10	4 国守	鞍山 新京	鞍山 新京	(%) 新京南隊 3	新京 奉天	7 1 24	スレレン スク アルケック カラカダ	5 2 18	90 2 2	約 100		3 7 6	小豊満砲隊へ派遣者あり 13/30 歩1320(歩246連)と 混同し易し	
81	同上	野戦機関砲 隊 71 中隊	満 523 強/3121 中尉 宮崎三三	19 10 11	野高 26 連 東部 127 120 (約 15)	鞍山 安東	安東	(%) 奉天現地召解 63 (現地召参)	奉天	47	アラゴエ テスス	8	60	約 60	奉天	20 1 1 20 5 5	20.7 迄 隊長 大尉 小森太郎	
82	同上	野戦機関砲 隊 72 中隊	満 539 強/3122 中尉 平野寅治	19 11 5	東部 187 110 (約 30)	鞍山 安東	安東	(%) 安東南隊 20	奉天	2 24 54	ルマー カラカダ スターリン スク	12 18 4	30 6 80	約 70		20 1 1 20 3 20	1 9 5	
83	同上	野戦機関砲 隊 73 中隊	満 57 強/3123 中尉 川島辰治	19 9 5	野高 26 連 中部軍 135 (約 20)	奉天 奉天	奉天	(%) 奉天南隊 1	奉天	24	カラカダ	11	110	約 110			20.7 迄 隊長 中尉 坂井久衛	
84	同上	野戦機関砲 隊 74 中隊	満 242 強/3124 中尉 甘粕豊太郎	19 11 1	野戦機関砲 7 中 中部軍 150 ()	奉天 新氏	巨流河	(%) 巨流河南隊 30	奉天	24 54 59	カラカダ ウラソウ 520 砲大 アルケック	18 3 5 2	10 80 5 2	約 100		19 12 31 26 3 20	1 6 0	満 242 は朝 242 と混同され易し
85	同上	野戦機関砲 隊 75 中隊	満 745 強/3125 中尉 太平博愛	19 9 7	野戦機関砲 7 中 中部軍 150 (約 30)	遼陽 新京	新京	(%) 新京南隊 6	新京 敦化	7 7	スレレン スク バルト	5 5	20 30	約 110		19 12 31 20 5 21	3 7 6	小豊満砲隊へ派遣者あり 13/25 歩 247 連と同一通称で 誤り易し
86	同上	野戦機関砲 隊 76 中隊	満 794 強/3126 中尉 藤原可郎	19 9 30	中部軍 130 (約 30)	水豊 水豊	拉古特	(%) 宮原南隊 4 現地召解 10 (現地召参)	奉天	24 54 59	カラカダ スターリン スク アルケック	18 4 2	2 100 2	約 110		20 1 1 20 5 16	1 9 5	
87	同上	野戦機関砲 隊 77 中隊	満 839 強/3127 中尉 邑上俊三郎	19 8 7	150 (約 30)	瀋陽 奉天	宮原	(%) 宮原南隊 4 現地召解 10	奉天	2 24	ルマー カラカダ	8 18	90 2	約 90			満 839 と 77 中隊 (牛嶺河) と 混同され易し	
88	同上	野戦機関砲 隊 78 中隊	満 3047 強/5655 中尉 藤岡城	19 11 1	歩 77.78 大 100 ()	瀋陽 奉天	奉天	(%) 奉天現地召解 12	奉天	24	カラカダ	6	90	約 90		20 6 1	2 0 1	

0422

87	3HA 内警	関東警備隊	第701 第1313	大 16 7	関東軍 (滋野副)	大連	大連																	20 11 20 5 31	労大地区より帰還
		司令部	中將 柳田元三	16	53師団(35連 120 ())	大連	大連	大連																0	
90	同上	特設警備 第651大隊	第3161	大 19 1	関東軍	大連	大連	大連															20 11 20 1 1	諸元不明	
		(甲)	大佐 潮戸正秀	4	207 ()	大連	大連	大連																0	
91	同上	特設警備 第611大隊		20 7																			無	諸元不明	
		(2)		10	12 ()																				
92	同上	特設警備 第612大隊		20 7				大連															無	諸元不明	
		(2)		10	12 ()																				
93	同上	特設警備 第613大隊		20 7																			無	諸元不明	
		(2)		10	13 ()																				
94	同上	特設警備 第614大隊		20 7																			無	諸元不明	
		(2)		10	12 ()																				
95	同上	特設警備 第615大隊		20 7																			無	諸元不明	
		(2)		10	12 ()																				
96	同上	特設警備 第616大隊		大 20 7			大連																無	諸元不明	
		(2)		10	12 ()		大連	大連																	
97	同上	特設警備 第608中隊		20 7																			無	諸元不明	
				10	3 ()																				
98	同上	特設警備 第609中隊		20 7																			無	諸元不明	
				10	3 ()																				

0423

(30)

番号	所属部隊	通称	編成状況		位置		戦斗による損害の程度	作業大隊		入ソ初期の收容所			入ソしむつた者に閉居する地点	留名	軍部郵便所	備考
			編成年月日	編成地	編成員数	編成地		編成地	番号	地区	分所	人員				
99	特設曹備	第610中队	20.7.10	関東軍			(%)									略元不明
100	高射砲隊	第171連隊	大佐 荒木幸吉	20.7.7	関東軍 (砲兵)	大連	(%)	海林 148	タレット	9分	7			20.1.1		主カは旅大地区より帰還入ソした者は分遣者程度である
101	重砲隊	第61中队	大尉 寺茂良三	20.7.7	関東軍 (砲兵)	大連	(%)	151	ホモロン	30分	4	15名		20.1.1		主カは旅大地区より帰還
102	特別警備隊	司令部	少将 久保宗治	20.8.7	69兵衛(2中)の主力 101警司の一部 (強5291)	奉天	(%)	奉天 35	ダシケト	3分	80	約150名	奉天	101		1. 衛隊に似しなく在満憲兵及20.5附軍司百無將校の一部を編入す
103	特別警備隊	第1大隊	中佐 宮崎 義一	20.8.7	69兵衛(2中)の主力 奉天憲兵 (強5291)	奉天	約18名 (%)	36	アングレン	3分	60	約600名	奉天	20.1.1		1. 司令部と同じ
104	特別警備隊	第2大隊	大佐 和田昌雄	20.8.7	69兵衛(2中)の主力 24兵衛4中隊中 新京憲兵本部 (強2600)	新京	(%)	公主峯 14	ペコワド	1.2分	500	約500名	新京	20.1.1		1. 司令部と同じ
105	特別警備隊	第3大隊	少佐 後藤秀敏	20.8.7	62兵衛(2中)の主力 69兵衛1中	通化	(%)	吉林 210	バルナル	1分	50	約50名	通化	62.20		1. 司令部と同じ 2. 解放後 胡崗鎮 胡崗鎮近で行われ 且大半は敗退してある 3. 同北事件に一部関係してある
106	特別警備隊	第4大隊	大佐 平野庄衛	20.8.7	62兵衛(2中)の主力 2中4中 (強7025)	奉天	(%)	奉天 36	アングレン	3分	530	約530名	奉天	62.20		1. 司令部と同じ

0424

107	同上	関東軍第1 特別警備隊 第5大隊	強37402 少佐 堀田巷三郎	新 20 8 7	74兵衛之中 新京連(強2600)	新京 公主塔	1名(%)	公主嶺	14	0	ベグワード	1分2分	280	約 280名	公主嶺	20/1/1 20/4/10	3 0 2	司令部に同じ
108	同上	関東軍第1 特別警備隊 第6大隊	強37402 中佐 青藤隆三	承 20 8 7	因新承德支隊 87兵衛3中(強5201) 承德連	承德 承德	(%)	承德	30	0	ワラン ハートル		300	約 300名	承德	20/1/1 20/5/3	2 4 0	司令部に同じ
109	同上	関東軍第1 特別警備隊 第7大隊	強37402 大佐 宇野良雄	四 20 8 7	74兵衛1中 四平連(強2600)	四平 四平	(%)	四平	4		100-111	4分	200	約 200名	四平	20/1/1 20/4/10	1	司令部に同じ
110	同上	関東軍第1 特別警備隊 第8大隊	強37402 大佐 上野直次	奉 20 8 7	87兵衛の一部 (強7040)	奉天 奉天	(%)	奉天	36		タコト	3分	160	約 160名	奉天	20/1/1 20/5/28	1 0 0	司令部に同じ
111	同上	関東軍第1 特別警備隊 第9大隊	強37402 少佐 小松昇	奉 20 8 7	62兵衛3中砲小 承德連求撃分隊 (強7025)	奉天 奉天		奉天	35		アングレン	3分	350	約 350名	奉天	20/1/1 20/5/3	1 0 0	司令部に同じ
112	同上	関東軍第1 特別警備隊 第10大隊	強37402 大佐 金川耕依	興 20 8 7	因新承德支隊 87兵衛3中砲小 (強2600)	興安 興安	0.23名(6%)	公主嶺 公主嶺	14 18		ベグワード カクラ	1分 5分	15 30	約 160名	敦化	20/1/1 20/4/10	1	司令部に同じ
113	同上	関東軍第1 特別警備隊 教導隊	強37402 中佐 志村行雄	奉 20 8 7	62兵衛 興安の一部 1中 (強7025)	奉天 奉天	(%)	奉天	36		タコト	3分	200	約 200名	奉天	20/1/1 20/5/3	1 0 0	司令部に同じ
114	同上	関東軍第1 特別警備隊 通信隊	強37402 中尉 市川忠	奉 20 8 7	関東軍通信隊の一部	奉天 奉天	(%)	奉天	35		アングレン	3分	60	約 60名	奉天	無	1 0 0	司令部に同じ
115	31A 136D	本溪湖警備隊 本部	強704 強13107	本 19 10 11	本溪湖 中部軍	奉天	(%)	奉天							本溪湖	20 13 127		

0425

(32)

番号	部隊固有名称	通称号 隊長官氏名	編成状況		位置		戦斗による損害の程度 戦地解散及び占領の状況	作戦大隊				ソ初期の収容所		入所した者 の国籍 大なる地点	留名 有 無 日	軍 部 便 所	摘 要
			編成 年月日	編成 人員(現職)	平時 編成時	主軍 武器		編成地	基地	地区	分所	人員					
116	3HA 本隊 特設警備 第603中隊	番 2693 中尉 鈴木光雄	本 隊 湖	19 ・ 1 ・ 4		本 隊 湖									有	19 ・ 2 ・ 28	防衛召集は実施せず 基幹人員 4名
117	同 上 特設警備 第604工兵隊	番 3158 少尉 坂井静雄		19 ・ 9 ・ 8		本 隊 湖		なし () 20.8.19 部隊解散						本 隊 湖	有	19 ・ 24 ・ 28	基幹人員 4名 20.8.1 防衛召集を実施してあるが 何部は不明
118	3HA 本 隊 本 隊 特設警備 第602中隊	番 286 番 13108 少尉 伊藤	本 隊 湖	19 ・ 10 ・ 1		本 隊 湖		() 20.8.18 部隊解散	奉天 40大	アモル ス	2	約20	約20	本 隊 湖	有	20 ・ 12 ・ 11	本隊は本隊原田大尉(20.6.11)江 持嘉樹大尉に救出 後時は野原七中隊少中尉 が召集してある 編成担任部隊のため19の旅と混同し 易い
119	同 上 特設警備 第602中隊	番 2692 少尉 伊藤		19 ・ 1 ・ 4		本 隊 湖		なし () 20.8.18 部隊解散									20.8.14 防衛召集を実施してある 何部は不明である
120	同 上 特設警備 第603中隊	番 3157 少尉 真形涉		19 ・ 4 ・ 8		本 隊 湖		なし () 20.8.19 部隊解散						本 隊 湖	有	20 ・ 14 ・ 11	基幹人員 4名 20.8.14 防衛召集を実施してある
121	3HA 134 本 隊 特設警備 第601中隊	番 292 番 13109 大佐 上田利三郎	本 隊 湖	19 ・ 10 ・ 11		本 隊 湖		なし () 20.10.20 部隊解散 主力は⑩級置						本 隊 湖	有	20 ・ 15 ・ 12	20.7.14 防衛召集を実施してある 何部は不明
122	3HA 本 隊 特設警備 第601中隊	番 2691 中尉 中島善蔵	本 隊 湖	19 ・ 1 ・ 4		本 隊 湖		なし () 20.8.20 部隊解散									基幹人員 4名 20.8.14 防衛召集を実施してある 何部は不明
123	同 上 特設警備 第605工兵隊	番 3160 少尉 岡本武雄		19 ・ 9 ・ 8		本 隊 湖		なし () 20.8.20 部隊解散							有	19 ・ 12 ・ 30	基幹人員 4名 20.8.14 防衛召集を実施してある 何部は不明

0426

129	31A 108D	特設警備 第606中隊	第2696 中尉 佐藤善藏	本 19 天	126(124)	早新 早新	なし(%) 早新入隊2 早新高隊 1. 第1中隊 2. 第2中隊 3. 第3中隊 4. 第4中隊 5. 第5中隊 6. 第6中隊	錦 1大	109	早新 早新	19 0 4 19	基幹人員4名 20.8.13 防衛召集を実施してゐる
128	同上	特設警備 第615中隊					(%)					資料無
126	同上	特設警備 第616中隊					(%)					資料無
127	同上	特設警備 第617中隊					(%)					資料無
128	同上	特設警備 第618中隊					(%)					資料無
129	同上	特設警備 第649中隊					(%)					20.8.15 防衛召集は実施した 徹底地は黒山の予定であったが 途中一部108師団の指揮下に入る
130	同上	特設警備 第650中隊					(%)					資料無
131	同上	特設警備 第602工兵隊	第3154 中尉 奥島隆徳	本 19 天		本又 本又	なし(%) 20.8.19 部隊解散				19 0 12 31	基幹人員7名 20.8.13 防衛召集を実施してゐるが 細部は不明
132	同上	特設警備 第606工兵隊	第3168 中尉 鍋橋 弘	本 19 天		本又 本又	なし(%) 20.8.17 部隊解散			本又	20 0 1 115	基幹人員4名 20.8.13 防衛召集を実施してゐるが 細部は不明
133	同上	特設警備 第607工兵隊	第3169 大連 大連	本 19 天		大連(開水子) 大連(開水子)	なし(%) 20.8.17 部隊解散 入込			大連	20 0 1 1	留名上層長と推察されるもの 少尉 田田 伸昇 基幹人員4名 20.8.4 防衛召集は 実施してゐるが 細部は不明

0427

番号	所属部隊固有名称	通称号	編成状況			位置		戦斗による損害の程度	在籍大隊		入ソ初期の収容所			入ソしたか た否に因る大 なる地点	姓名 調査 年月日	軍部 郵便 所	備 考
			編成 年月日	編成 人員(現地含む)	補充 担任部隊	平時 位置	戦時 位置		備成地	番号	地区	分析	人員				
31A 108	特設警備 隊609工兵隊		大連(固本)			奉天		なし(%)									一中隊長 中尉八谷菊次郎 四中隊長 少尉 長植 実
35 上	特設警備 隊610中隊							(%)									資料無
136 上	特設警備 隊611工兵隊							(%)									資料無
137 上	特設警備 隊612工兵隊							(%)									資料無
31A 138 直	特設警備 隊652大隊 (甲)	強 3162	奉天 19 11 14	関東軍	奉天	奉天		(%)									諸示不明
139 上	特設警備 隊653大隊 (甲)	強 3163	奉天 19 12 15	関東軍	奉天	奉天		(%)	奉天 52	ハルビン	421 第1 隊	5	5名				諸示不明
140 上	特設警備 隊606大隊 (乙)	強 2606 坂水隆郎	ハルビン 19 11 10		ハルビン	ハルビン		約50(20%)	ハルビン 1 " 2 シハト 大隊	クラス ヤシキ ペンセル カゲラ モスコ	2分 9分 2分 58分	18 19 1 26	約 40名				3中(3地区)の戦いの板耗の調査 を重視
141 上	特設警備 隊607大隊 (乙)		20 7 10	関東軍				(%)									

0428

31A 142	特設警備 隊608大隊 (2)		20 7 10	関東軍 満洲 12 ()		(%)														
143	同 上 特設警備 隊610大隊 (2)		20 7 10	関東軍 満洲 12 ()		(%)														
144	同 上 特設警備 隊611中隊		20 7 10	関東軍 満洲 3 ()		(%)														
145	同 上 特設警備 隊612中隊		20 7 10	関東軍 満洲 3 ()		(%)														
146	同 上 特設警備 隊613中隊		20 7 10	関東軍 満洲 3 ()		(%)														
						(%)														
31A 147	總 隊54連隊 隊5797 隊37809 少佐 隊長等	奉 天 天	20 7 10	陸軍幼年教育隊 (編7597) 1100 (400)	奉天 奉天	奉天 奉天	(%) 約500名	奉天 32 " 31	タレント "	5分 2分	82 570	約 600								満洲に際し関東方面陸軍幼年教育隊を 基幹とし肉軍幼年教育隊、優秀な連 隊等で編成させた
148	同 上 隊11遊撃隊 隊57810 大隊 有沼大	新 民 民	20 7 10 20 7 23	35年秋進軍要員 教育隊 (満980) 1300 (700)	新民 新民	奉天	若干 (%) 700名以上台石も加 隊 隊員	奉天 18 ? 36 " 52 " 59	カラカヤ カラヤ ナ カラヤ	10分 6分 2分 5分	600 17 約 620 500		奉天							第780 (第3方面軍進軍要員教育 隊が20年7月2分以下部隊の基幹 要員となる 第11遊撃隊(新民) 第12遊撃隊)
149	同 上 建築勤務 隊34中隊 大隊 岡根五郎	山 台	14 8 16	2師団(第2連) 道川崎野2連 527 ()	雑 奉天 奉天	奉天	(%)	奉天 17	カラカヤ	9分	500	500 名								
150	同 上 臨時独立歩 隊901大隊 大隊 若杉果	周 水 子	20 7 20	79兵警主力 満7040 900 ()	周水子 周水子	周水子	(%)													激大地区より飯盛

番号	所属	部隊固有名称	通称号	編成状況		位置		戦時における機密の程度	作業大隊				ハソレるかつた者(肉類大なる地点)	別名	備考	摘要		
				編成年月日	編成地	平時	主要武装		編成地	番号	地区	分所					人員	
51	3HA 直	第3野戦補給隊	満 336 強 2654 大佐 遊佐主一	白	19 7 16	内閣軍補給隊 571補給隊(47連隊) 280()	有城子 0台城子 ハイラル 桃雨	公主嶺	約25名(4%) 約30名	公主嶺	2	トル スタン	4	500	約 700	20 11 26 3	2新 0京 3	
52	同 上	89兵站病院	強 6084 重臣大尉 水上哲二	山 神 府	16 7 4	大阪陸病 大阪陸病 450(各レ)	熊岳城 熊岳城	熊岳城	各レ(各) 熊岳城深天にて降参 約15名	奉天 依59大 依55大	79地区 "	ハラコ ル 30	100	奉天	20 11 1		開戦時の人員約220	
53	同 上	承德陸軍病院	強 14 重臣中佐 横代利治	承 徳	17 11	錦州陸病 錦州陸病 60(各レ)	承德 承德	承德	各レ(各) 各レ	承德 依5大	承德地区 "	52	52	錦州	20 11 1	2 4 0		

0430